

教員のための防災教育ブックレットを共同作成

～「いのちを守る防災教育」の推進のために～

国立大学法人宮城教育大学と国土交通省東北地方整備局は、防災・減災の取り組みの一環として、「いのちを守る教員のための防災教育ブックレット」を共同作成により刊行しました。

台風第19号など災害が激甚化するなかで、防災教育の重要性はさらに高まっています。本ブックレットを教員が活用することで、**将来を担う生徒の防災理解力が向上し、「いのちを守る防災教育」の推進**に繋がることを期待しております。

1. ブックレットのねらいと構成

●防災教育における教員への支援体制を構築

学校での防災教育の現場では、防災副読本などの資料が充実する一方で、教科単元のなかにもどう位置づけて、どのような教材をどこから入手すればよいか、どこに力点を置いて知識・能力を身につけさせるべきかなど、ゼロからの授業づくりが容易でない実態がありました。

本ブックレットにより教員の指導力向上の一助となり、児童・生徒の理解力向上に繋がることを目的としています。

2. ブックレットについて

- ・ 小・中学校の教員向けを対象としています。
- ・ A4版 54ページ（表紙等含む）
- ・ 授業で活用できるイラスト等のダウンロードサイト、ハザードマップの確認方法も紹介しています。
- ・ 以下のサイト内で、ブックレットPDFデータ及び関連資料をダウンロード可能です。
「<http://drr.miyakyo-u.ac.jp/eduport/>」
（「宮城教育大学 教員のための防災教育」で検索可）
- ・ 冊子版が必要な方は、下記の宮城教育大学の問い合わせ先までご連絡ください。



〈記者発表会〉宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会
青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ

〔防災教育ブックレットの内容・入手に関する問い合わせ先〕

国立大学法人宮城教育大学 [022-214-3296]
防災教育研修機構 小田・斎藤

〔本記者発表に関する全般的な問い合わせ先〕

国土交通省 東北地方整備局 [022-225-2171]
防災室 須藤・千葉（内線 2152・2163）

「いのちを守る教員のための防災教育ブックレット／ポータルサイト」の公開について

宮城教育大学と国土交通省東北地方整備局は、令和元年7月に締結した防災教育の推進に関する連携協定に基づく共同研究の成果として、このたび「教員のための防災教育ブックレット（風水害編）」を刊行しました。

学校での防災教育の重要性は多くの教員が認識していますが、多忙な現場では、防災に関する学習を教科単元のなかにどう位置づけたら良いか、適切な教材・資料をどう入手したら良いかなど戸惑いがあり、ゼロからの授業づくりは難しいという声を踏まえたものです。

宮城教育大学教職大学院の防災教育科目において、履修した現職院生の所属小・中学校における授業実践、東北地方整備局の防災専門家らによる特別講義やアドバイスを受けながら、学校教育における防災の授業づくりの充実を支援することを目的として作成されました。

ブックレットには、(1) 授業づくり、(2) 授業実践、(3) 振り返りを柱として、指導案や、ハザードマップ等の地図の入手法をはじめ、授業で使用できるイラストや資料集、宮教大と整備局の防災に関する取組を掲載しています。





また、このブックレット（全ページ）や、関連するフリーイラスト（無料ダウンロード可）、便利なウェブサイトへのリンク先などを掲載した「いのちを守る教員のための防災教育ポータル」をあわせてウェブ上に公開しました。

宮城教育大学では、この成果を学生向け防災教育の教材として使用するとともに、広く学校現場に周知・提供して活用してもらうことにしています。東北地方整備局では、東北6県にある各事務所を通じて、防災教育・啓発を行う関係先に提供することにしています。

宮城教育大学は、昨年4月、＜311いのちを守る教育研修機構＞（防災教育研修機構）を設置して、教員の学校防災力向上に関する取組を展開しております。また、東北地方整備局も昨年4月に防災室を新設し、防災・減災機能を強化しています。今回の取組は、「新たなステージに対応した防災教育の推進」に関する両機関の共同研究の一環として行われたものです。

本件お問い合わせ先

国立大学法人宮城教育大学
防災教育研修機構（小田・斎藤）
TEL 022-214-3296

国土交通省 東北地方整備局
防災室（千葉）
TEL 022-225-2171（内 2163）

「防災教育」の取組事例



国土交通省

82東北

○「教員のための防災教育ブックレット(風水害編)」を国立大学法人宮城教育大学と国土交通省東北地方整備局が令和元年7月に締結した連携協定に基づく共同研究の成果として作成。

○宮城教育大学教職大学院の授業科目において、東北地方整備局からの講義や、小・中学校での授業実践を行いながら、防災教育の指導力向上を目的にR2.3作成。

ブックレットのねらいと構成

防災教育における教員への支援体制を構築

学校での防災教育の現場では、防災副読本などの資料が充実する一方で、教科単元のなかにもどう位置づけて、どのような教材をどこから入手すればよいか、どこに力点を置いて能力を身につけさせるべきかなど、ゼロからの授業づくりが容易でない実態。→教員への支援が必要。

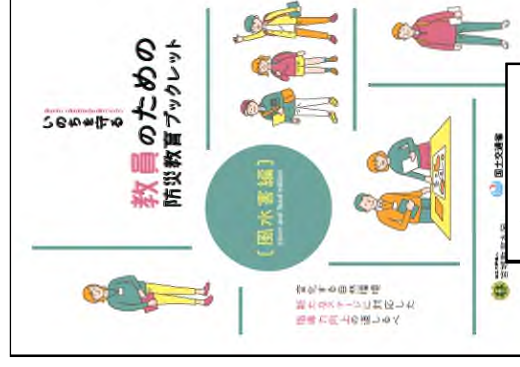
学校教育における授業実践の充実を支援するために

宮城教育大学教職大学院で学ぶ現役の小・中学校教員等が、風水害に関する授業を実践し、それを教育大学教職大学院員及び東北地方整備局の専門的立場から参加するメンバーによる振り返りの記録を中心に構成。

①授業づくり②授業実践③振り返り

役立つリソース

授業で使用したイラスト等のダウンロードサイト、ハザードマップの確認方法、各ホームページの紹介



ブックレット表紙



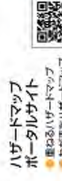
現任教員による授業実践



東北地方整備局からの講義

ハザードマップの確認

防災教育で活用する東北地方整備局のウェブサイトと、ウェブサイトからダウンロード可能なハザードマップを確認する方法について、ハザードマップポータルサイトには、様々なハザードマップと合わせて、ハザードマップポータルサイト



教職大学院員による振り返り

ハザードマップの確認方法の紹介